

募集班長の模型部屋（第8回）

皆さん、あけましておめでとうございます。よいお年を迎えられたでしょうか。

私は例年の恒例行事で、娘達を某ランドに連れて行ったり渋谷や池袋で女の子の買い物に連れて行き、その見返り？として秋葉原に模型の買出しに行ってきました。以前もお話させていただきましたが、ネットで買えば簡単なのですが、やはり、あのキットが山積みされた店内をくまなく探し回るのが大好きなので、やめられませんね。

さて、今回は世界の戦車シリーズ第1弾

T-55戦車です。



T-55はソ連の主力戦車として使用されていた戦車で、T-64、62、72戦車が出来るまでソ連はもちろん、輸出されたり技術提供でさまざまな国で使用されており、現在でも中東諸国等でその改造されたタイプが使用され続けています。変わった改造型としては車体のみを活用して農業用トラクターにしているものもあるそうです。戦争映画にも良く使用されているので、動いているT-55を見ることはそう難しい事ではないかなと思います。詳しい事はネットでいろいろ出ているので、私の解説よりそちらをお勧めします。



キットはタミヤのT-55をストレート組みしました。T-55のキット言えば、平成2~3年頃に発売になったエッシー社のキットを思い出しましたが、あれから約20年・・素晴らしいキットが発売されました。パーツの合いといい、表面の質感といい、私には文句なしです。車体色はアクリルタミヤのオリーブドラブにカーキを混ぜたものを使用しています。その後、スミ入れ、パステルコンテによる泥、錆塗装、タミヤウェザリングスティックダークアースでの泥汚れ、そして、ピグメントを足回りに塗りたくりました。



キャタピラはとても重いので、矢印のところはもう少し沈み込むんですよね。ちょっと浮いてしまったので、キャタピラの重さが表現できませんでした。



戦車兵はキットのものと、タミヤのT-62のものを載せました。後者は20年前に友人からもらったフィギュアで、やっと世に登場することとなりました。車体周辺はウェザリングスティックで泥をのせ、水で延ばして隙間に流れ込んだ表現にしました。ロシア戦車は思いのほか鑄造表面が荒れているので、錆が発生している写真を見かけます。オーバーにならない程度にパステルで表現しました。



砲塔周りのほか、フェンダーや車体下部への泥汚れと錆の流れも忘れてはいけません。





お決まりの砲塔斜め前方でのショット！このアングルが私は好きなんですよね。でも、この戦車のイメージと言うと、中東の戦場で撃破され朽ち果てている写真ばかりが思い出されます。強いと言うより悲壮感を感じてしまいます。旧日本陸軍戦車ほどではありませんけどね。



車体後部のエンジングリルもエッチングパーツで簡単にリアリティを増すことができますが、網の目が塗料で埋まらないように注意が必要です。



ストレート組みにしては力を入れて作ったのでページが増えてしまいました。次回は世界の戦車第2弾！
中国の

99式戦車



です。またお付き合いください。